

1. 過年度の連年修正申告の処理手順

(1) 状況

当期が令和3年3月期の3月決算法人が、前々期と前期の過去2期分の連年修正申告を行う例とします。

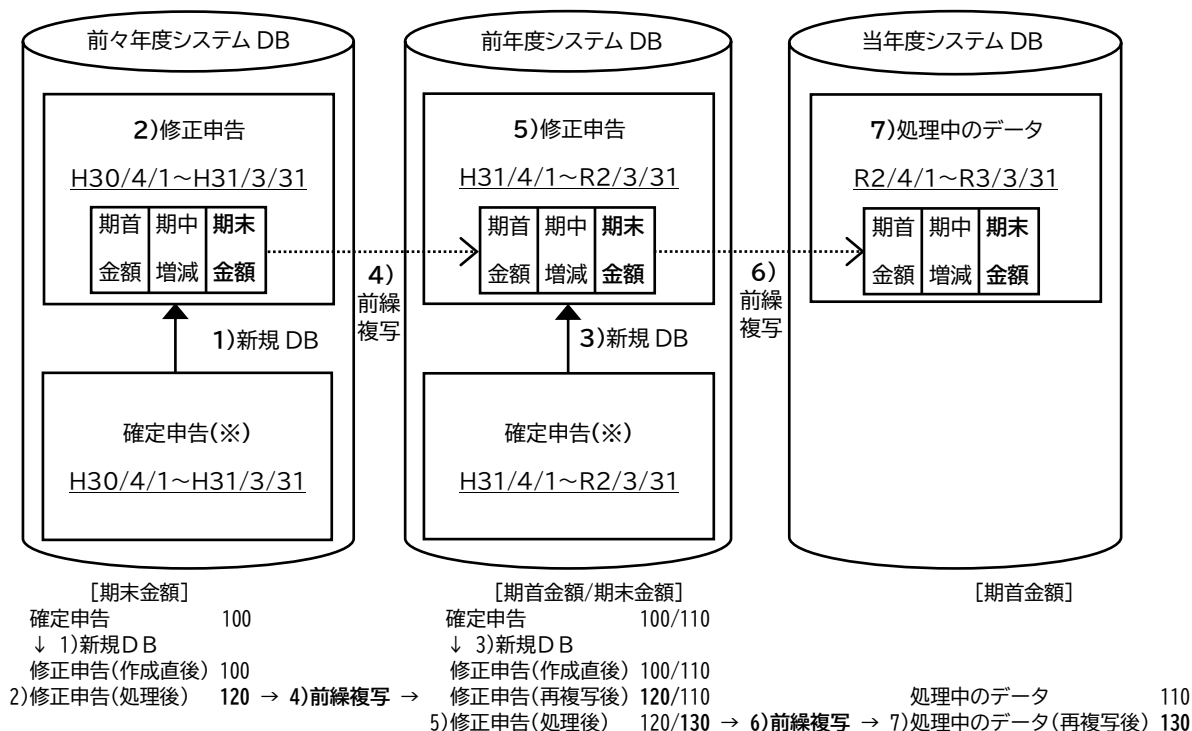
(2) 処理イメージと処理手順

① 処理イメージ

1)から7)の順番に処理を行います。

期	前々期(2期前)	前期	当期
システム	前々年度版 (平成30年度版)	前年度版 (令和元年度版)	当年度版 (令和2年度版)
事業年度	H30/4/1~H31/3/31	H31/4/1~R2/3/31	R2/4/1~R3/3/31
処理フロー	新規DB (元)作成(複写)元(※) (先)作成(複写)先	1)H30修正申告の作成 (元)H30確定申告(※) (先)H30修正申告	3)R1修正申告の作成 (元)R1確定申告(※) (先)R1修正申告
	前線複写 (元)再複写元 (先)再複写先		4)R1修正申告への再複写 (元)H30修正申告 (先)R1修正申告
	データ処理	2)H30修正申告の処理	5)再複写結果の確認と R1修正申告の処理
備考		前線複写時は、再複写先のシステム年度(令和元年度版)を選択	前線複写時は、再複写先のシステム年度(令和2年度版)を選択

(※)修正申告データが存在する場合は、最新の修正申告データを作成(複写)元に指定します。



② 処理手順

下記の処理手順となります。

1)前々期(2期前)の処理

a.修正申告データの作成

前々年度版(平成30年度版)の修正申告データを「新規DBの作成(複写)」で作成します。
(上記①1)新規DB)

b.修正申告データの処理

前々年度版(平成30年度版)の修正申告の処理を行います。(上記①2)修正申告)

2)前期の処理

「[前期繰越金額の再複写](#)」を行う前に、[再複写先の修正申告データの作成が必要](#)になります。

また、「[前期繰越金額の再複写](#)」後は、[再複写内容が正しいことを確認](#)してから、前年度の修正申告の処理を行ってください。

a.修正申告データの作成

前年度版(令和元年度版)の修正申告データを「新規DBの作成(複写)」で作成します。
(上記①3)新規DB)

b.前期繰越金額の再複写

前々年度版(平成30年度版)の修正申告データを再複写元とし、前年度版(令和元年度版)の修正申告データを再複写先として、「[前期繰越金額の再複写](#)」を行います。(上記①4)前繰複写)

c.前期繰越金額の再複写結果の確認と、修正申告データの処理

前年度版(令和元年度版)の修正申告で、[前期繰越金額の再複写の結果確認](#)を行い、前年度版(令和元年度版)の修正申告の処理を行います。(上記①5)修正申告)

3)当期の処理

過年度(前々期と前期)の修正申告処理が終わったら、[最後に当年度の処理中のデータへ「前期繰越金額の再複写」を行い](#)、再複写内容を確認することを忘れないようにしてください。

a.前期繰越金額の再複写の実施

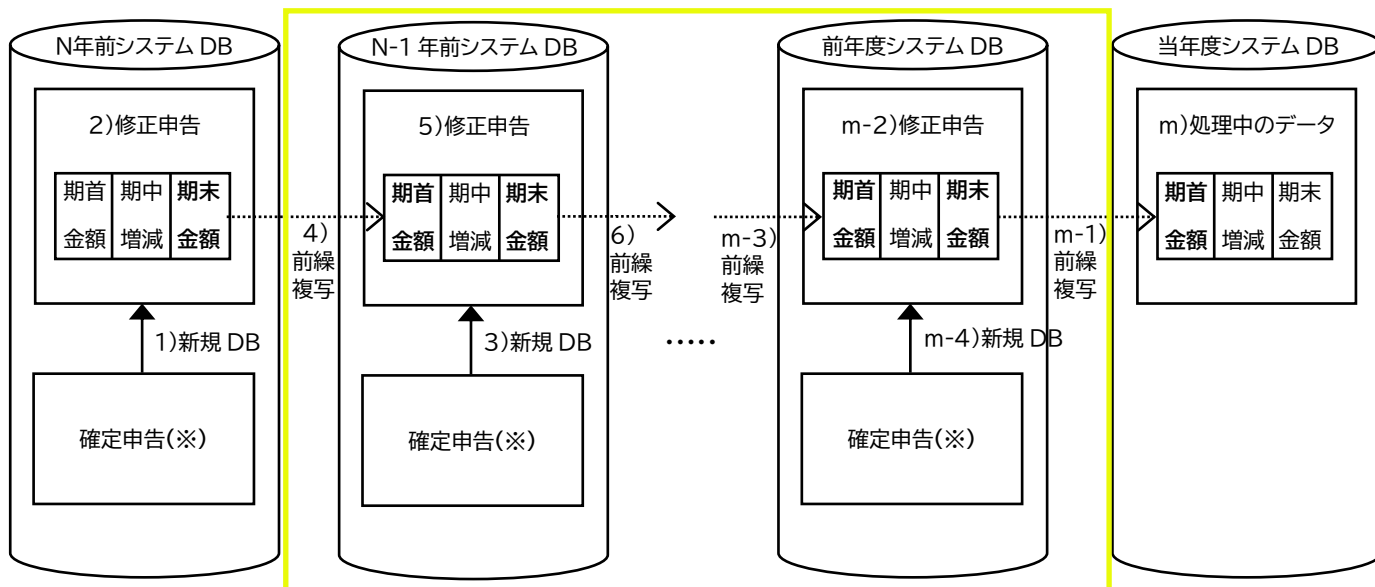
前年度版(令和元年度版)の修正申告データを再複写元とし、当年度版(令和2年度版)の処理中のデータに、「[前期繰越金額の再複写](#)」を行います。(上記①6)前繰複写)

b.前期繰越金額の再複写結果の確認

当年度版(令和2年度版)の処理中のデータで、[前期繰越金額の再複写の結果確認](#)を行います。
(上記①7)処理中のデータ)

【ご参考】3期以上の過年度の連年修正申告の場合

3期以上の過年度の連年修正申告は、上記の過年度を2期連続で修正申告を行うケースで、前期の処理が複数(N-1)回(黄枠)行われる下記のイメージとなります。



(※)修正申告データが存在する場合は、最新の修正申告データを作成(複写)元に指定します。